



■～超音波検査について～

超音波検査について

- 超音波室では超音波検査に対する、さまざまな質問にお答えしていきます。



☆超音波ってなに？

超音波とは、一般に周波数が高く人間の耳では聞くことが出来ない音です。

☆超音波をあてても、赤ちゃんは大丈夫？

超音波検査は、甲状腺や腹部などの検査で行われ、他の検査に比べ体への影響が少ないことから赤ちゃんの検査でも行うことができます。

☆どうやって画像にするの？

直接皮膚に当てる電子機器（プローブ）から、超音波を出すと、骨、筋肉、脂肪など性質の異なる物質の境界からは、それぞれの物質に応じた反射波が形成されます。この反射波の強弱を白から黒までの色に表します。このようにして画像をつくります。

☆超音波の検査（経腹）ってどうやるの？

超音波室で行う検査の場合、上腹部にかかる着衣は少し上にあげ、ズボンやスカート・下着は恥骨付近までさげ、仰向けに寝た状態で検査を行います。超音波用のゼリーを皮膚面に塗り、超音波を送信するプローブという器具を腹部に当てながら、生体内から跳ね返ってくる超音波を受信し、モニタ上に画像を写し赤ちゃんなどの様子を観察します。赤ちゃんは、おしゃぶりをしていたり、あくびや寝ていたりしてお母さんのお腹の中で自由に過ごしています。

☆赤ちゃんの大きさ（体重）はどうしてわかるの？

妊娠中期以降の場合（妊娠16週頃～）

超音波室で行う検査はお腹の上から検査を行います。

赤ちゃんの推定体重は、足の長さ（FL）とお腹まわりの周囲長（AC）と頭の左右径（BPD）を測り、推定体重式によって求めます。

そして、おおよその体重が分かります。

☆他には何に使われているの？

超音波は医療以外の分野にも使われています。例えば魚群探知機です。これは医療で使われているものと同じ原理で簡単に言うと海の上から超音波を出し、魚がいれば反射してくる音の戻りは早くなり、いなければ遅くなるという違いを利用しています。

担当：放射線科